



SSKP つくしんぼの会報誌

つくつく通信

“つくしんぼ”はハンディをもつ子どもたちのための放課後活動のスペースです

1996年11月号
(No. 5)

編集～フリースペース
つくしんぼ
町田市小川1511番地
TEL 0427(96)8468

障害児と健常児

一本の電話から……

先日、このつくつく通信の読者であるお母さんからお電話があり、「障害児のことを詳しく知りたい。できれば健常児である自分らの子どもたちと一緒に遊ばせたい、というお母さん方のサークルがあるのですが……」と教えて下さいました。

日頃から、健常児と一緒に遊べるチャンスはないものだろうか……と考えてばかりいるつくしんぼの母親たちです。さっそくそのお母さん方の集まりに飛び入り参加させて頂きました。

素朴な疑問

正直言って、健常児のお母さん方からこのようなお話が出るなどとは思っていませんでした。そこで、私たちは逆に質問させて頂きました。「どうして障害児のことを知りたいのですか？」と。

お母さん方はこう答えてくれました。

「街を歩いている時に障害を持つたお子さんとお会いすると、子どもが私たちに疑問を投げかけてくるんです。『なんであの子はおしゃべりが出来ないの?』『なんで赤ちゃんじゃないのに一人で歩かないの?』って感じで。そんな時、障害児と接したことがない私たちは、どうしても言

葉に詰まってしまうんです。そんなことがきっかけで……」

こんなことを障害者のお母さん方に尋ねては失礼なのかなと思いつつ、それでもどうしてもという思いから、わざわざ連絡下さったとのことでした。

同じ穴のなんとなら……

よく考えてみれば、私たちがだつてこのお母さん方と同じなんですよ。違っていたのは、生まれてきた子にハンディがあったかなかったかの差だけなんです。

もし自分たちの子どもにも障害がなかったとしたら、自分たちは障害児のことを積極的に理解しようとしていたのだろうか? 恥ずかしながらこの点、はなはだ疑問です。

ですから、このお母さん方からの積極的なアプローチは、私たちにとって感激的な出来事でした。

小さい頃から障害児と触れ合う機会を多く経験した子どもは、彼らが成長した時、周囲がわざわざ説明しなくても障害者の背負っているハンディを個性として捉えてくれる傾向にあると言われています。そんな人たちが街がいつぱいになった時、その時初めてこの街も障害者の暮らしやすくてくれるんじゃないかな、と思っています。

お金はないけど

来年の夏、私たちは障害児と健常児とそれぞれの親達合同のキャンプが出来たら、と考えています。(場所はやっぱり大地沢かなあ)その際、大勢の健常児とその親御さん

♪♪♪つくしんぼ日記♪♪♪

10月30日(水) 天気 花曇り

子どもたちは絵がとっても上手。でも、この日はちょっと勝手が違う……。

実はビーダマを使って絵を書いたのです。四角い箱の中に画用紙を敷き、その上を絵の具だらけにしたビーダマをゴロゴロのゴロリンと。傾けた方向にしが転がってくれないから、思った通りになかなかやがやにちょっとイライラ。



それでも赤や黄色や緑や紫の色たちが様々な曲線を巻き出してくれ、なんだかとてもビカリ気分!! (タタミの上でのゴロゴロはご愛嬌であふね~)

そういえば、一緒にあって熱中していたお母さんたちの絵作り、子どもたちの絵の方が素晴らしかったような……。

つくしんぼでガレージセールが開かれます!!

きたる11月28日(木)の午前9時半～午後2時に、フリースペースつくしんぼ内において第一回ガレージセールが開催される運びとなりました。



このガレージセールは、現状のつくしんぼにバザーを開くだけの人的余裕がないことを知って頂いた賛助会の方々が、つくしんぼの知名度アップのため、つくしんぼに代わって主催して頂くものです。(つくしんぼではカレージさんを来店する予定でいます)

現在、出店希望者を広く募集中です。ご連絡は、つくしんぼ代表の山下(95)3725、または小泉(96)4885、堀内(96)4265の方までお願い致します。

なお、ご出店なさりたい方には、申し訳ありませんが、つくしんぼの賛助会員になって頂くことを条件にさせて頂いております。つくしんぼガレージセールは、年4回の開催を予定

暖房器具、感謝感激です

前号で暖房器具の寄付をお願いしたところ、おかげ様で大勢の方から連絡を頂きました。

その結果、ファンヒーターがなんと合計五台も!! よーし、これを全部いっぺんにつけば……暖かいうえに窒息しちゃうかも。(あはは)

皆様のご好意、厚く感謝致します。これでなんとか冬も越えられそうです。

賛助会ご入会

ありがとうございます
池上様、小田原様、松谷様、小峯様、長宗様、原田様、山本様、鈴木様、北村様、安永様、宮島様、土屋様、岩崎様、小泉様

ご寄付&ボランティア

ありがとうございます
高尾様、庄司様、高橋様、菊地様、岩重様、伊藤様、神長様、高橋様、池上様、真鍋様、志村様、田代様、和田様、杉浦様、曾根原様、森様、町田ボランティアセンター様、天ぶらてん様、三石液化ガス様 (10月)

してあります。(賛助会会員の方は何度でも出店OKです)

みなさまのお越しを心からお待ちしております。また、もしつくしんぼとして売らせて頂ける不要な物品等がございましたら、ぜひぜひご寄付をお願い出来ます。来れば幸いです。



つくつく通信

“つくしんぼ”はハンディをもつ子どもたちのための放課後活動のスペースです

つくしんぼの活動は、月曜日から土曜日までの午後1時から5時までです。



「ちょっと進歩(?)」

✍️ 小林 保子

つくしんぼ通信の読者の皆さん、こんにちは。7歳の脳性麻痺の娘の母をしています、小林保子と申します。

娘の伊津子は現在、町田養護学校の2年生です。自他共に認める重症心身障害児で一人娘ということもあり、私達母子の生活は、まるで一卵性親子のようです。その上、ありがたいことに、娘は主人と私の両方の家族や親戚に大切にされ、それこそ筋金入りの箱入り娘として育ちました。

子供がかわいくない親はいない。それ

は万国共通でしょう。でも、やっぱり手がかかる子ほどかわいい。発達の遅い子ほど、一つの変化が百倍にも千倍にもうれしく感じられ、がんばっている娘がいとおしくてなりません。主人も私も、娘を大切に大切に育ててきました。

でも、障害の重い子を育てるのは肉体的にも精神的にも大変な面が多いのが現実です。よく、障害児を育てた母親の手記などを読むと必ずと言っていい程、「障害児の母になって良かった」とか「障害児の母、一度やったら辞められない」とか、「この子を通して、多くのことを学び、自分も成長した」とかいう文章を目にします。

私は現在、障害児母歴8年、ちょうど初心者マークを卒業したばかりといったところですが、まだ、前述の諸先輩方のような悟りは開けていません。たとえば、40℃以上の熱が一週間以上も続き、息が絶え絶えの娘の顔を枕元で何もできずに見ている時、肺炎で入院して、その辛さに娘の顔から表情が消えてしまった時、リハビリで固まってしまった足の筋伸ば

しをする度に痛さで半べそをかいている時など、障害児の母なんか、辞められるものなら今すぐにでも辞めてしまいたいと思ってしまう。いやはや、まだまだ修行の足りない未熟な母です。

そんな私ですが、最近、ちょっと進歩(?)がありました。それは、これまで家族が中心だった娘の生活を、地域や社会へと広げていきたい、いや、いくことが娘の幸せなのだと考えるようになったことです。辛いけど、そろそろ少しづつ子離れ、親離れしなければ……。

そんな私達に「フリースペース・つくしんぼ」という願ってもない場所ができました。まだ、体調が安定せず、なかなか参加できませんが、早く、体力がついてみんなと遊べるようになりたいです。

将来つくしんぼが、障害の有無に関わらず、地域の子供達が遊びに来れるようなそんな場所になってくれたらと願っています。

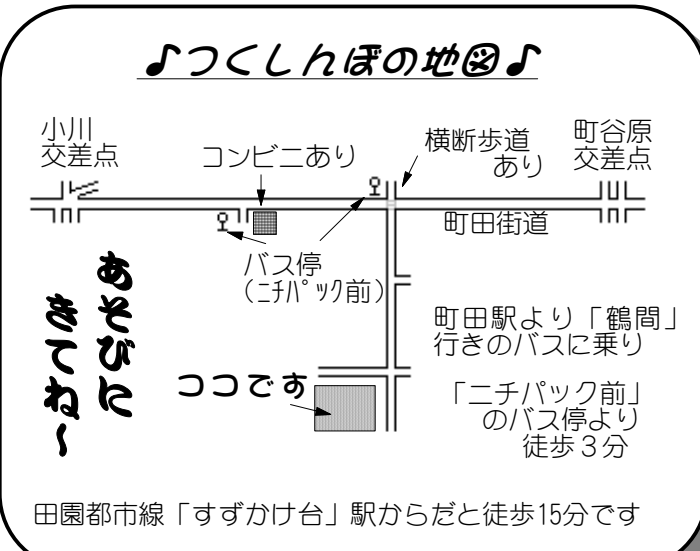


「たこ焼き屋」にご来店

10月26日に開催された「つくし野中フェスタ21」に、私たちつくしんぼは『たこ焼き屋サン』として参加させて頂きました。



お陰様で二百皿近いたこ焼きを完売させて頂きました。なにぶん慣れないもので、売れる勢いに作る方がまったく追いつかない。おまけに途中で材料がなくなり、買い出し休憩まで取ってしまう始末。長蛇の列にわざわざ並んで頂いた方、本当に申し訳ありませんでした。売り上げ金は、つくしんぼの運営費として大切に使用させて頂きます。



田園都市線「すずかけ台」駅からだと徒歩15分です

フリースペースつくしんぼ 賛助会へご入会をお願い

私たちは、ハンディを持つ子ども達の地域での放課後活動の場としてフリースペースつくしんぼを今年五月に開所しました。しかしながら、公的補助を受けていないつくしんぼの運営状況は、極めて厳しい状態にあるのが現実です。そこで、皆様にお願いがございます。本当に勝手なお願いで申し訳ないのですが、「フリースペースつくしんぼ賛助会」にご入会しては頂けませんでしょうか。お振込いただければ幸いです。

編集後記

先日、お叱りを受けてしまいました。「つくしんぼはいつ電話をかけても留守番電話しか出ない!!」と。留守が多くて本当に申し訳ありません。留守番電話にコメントを残すのって、どうにも苦手だという方、多いですもんね。(何を隠そう私も駄目なクチです) 現在のつくしんぼは、予算がない関係上、常駐職員を置いておりません。また活動日の午後の場合でも、

お母さん方の誰かが来ない限り、電話に出られないという状態が続いています。代表である私がいらればいいのですが……。何ぶん自分の家庭の生活費を稼がなきゃならんもので……。つくしんぼへの御用の方は、申し訳ありませんが、代表(といっても殆ど雑用係)の山下の自宅(95-3725)の方までお願い出来たら幸いです。(こっちは留守が多いという噂もある……)

発行所 東京都世田谷区砧6刊行26協定会21定価50円

郵便振替口座番号 00120-7-168283
加入者口座名称 フリースペースつくしんぼ